

くっちゃん景観だより

第1号 2020年9月発行

お問い合わせ/発行者 倶知安町まちづくり新幹線課景観室
TEL 0136-56-8012 FAX 0136-23-2044 E-mail:keikan@town.kutchan.lg.jp

倶知安町では、「景観計画」「緑の基本計画」の策定を検討しています！

倶知安町では、豊かな暮らしにつながる魅力ある景観づくりを行い、恵まれた倶知安の自然を守り育ていくため、町内の景観づくりの基本指針となる「景観計画」の策定と緑づくりの基本指針となる「緑の基本計画」の見直しに向けた検討を進めています。

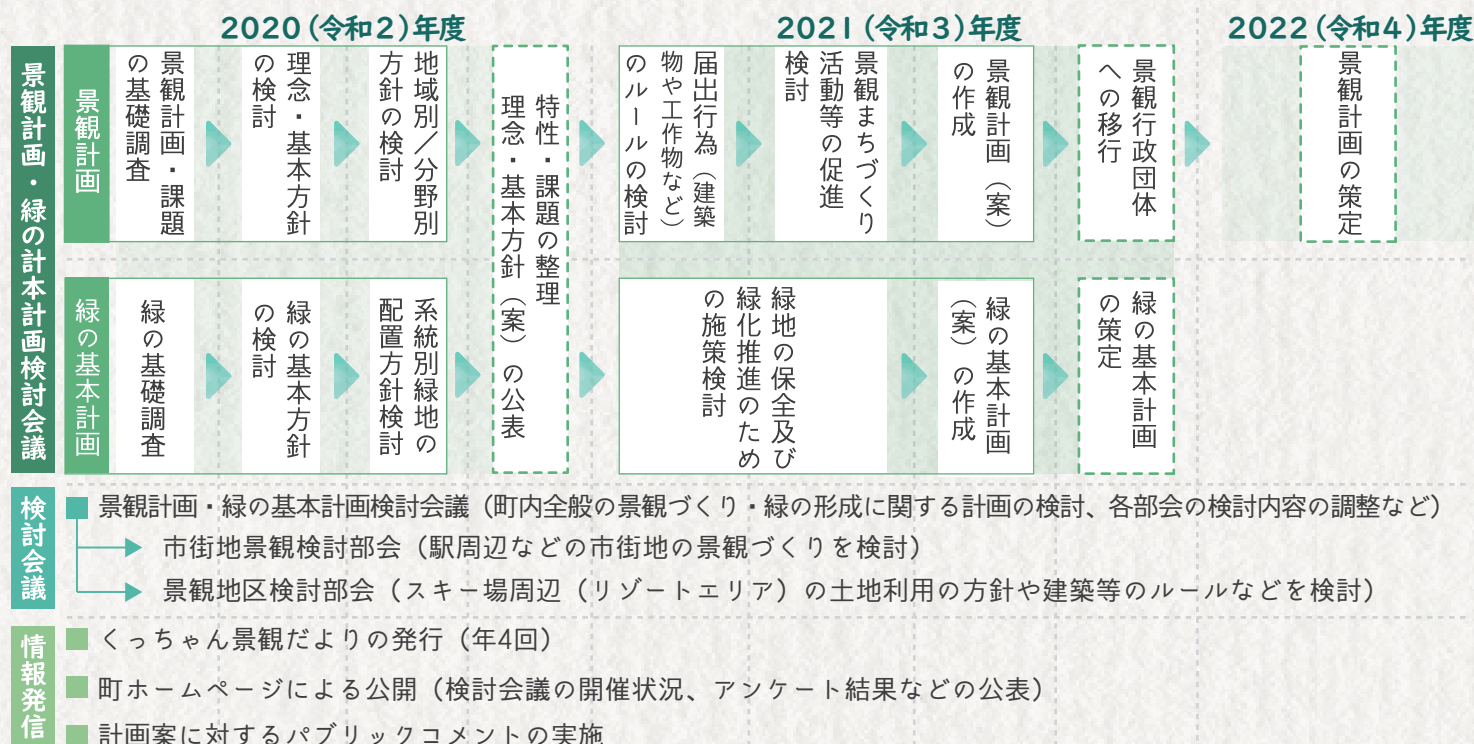
この景観だよりは、計画策定までの経過を町民の皆さまにお伝えすることを目的に、定期的に発行してまいります。

◆いま、景観について取り組むことの背景と目的

背景	大きな期待感	期待以上の不安感	不安に対して	目指すもの
	・リゾート地域のさらなる発展 ・新幹線・高速道路による市街地活性化	・恵まれた自然環境の喪失 ・公共インフラへの負荷 ・顔の見えない土地所有者 ・将来像が明確でない開発動向 ・短期間で入れ替わる居住者 など	・倶知安で大切にしたいもの、潜在的な魅力の把握 ・様々な行政計画で示されている方針の整理	◆倶知安に関わるすべての人がこの地に愛着と誇りを持ち続けられるまち ◆守る、育む、創る視点でのこれからのまちづくり ・景観の理念と方針の明確化 ・町民が主体となってまちづくりに取り組む姿勢を育む

検討の流れ

今年から約2年の予定で「景観計画」と「緑の基本計画」について、策定に向けた検討を行います。計画づくりにあたり、景観審議会委員や公募・団体推薦で構成する13名の「景観計画・緑の基本計画検討会議」で検討を行い、さらに、市街地とリゾートエリアにおける部会において具体的に検討していくこととしております。検討の経過につきましては、町ホームページで随時公開いたします。



町民のみなさまの景観及び緑に関する意識や、町における景観及び緑の状況等を把握するため、アンケートを実施しました。

アンケート調査期間：2020年6月12日～6月30日

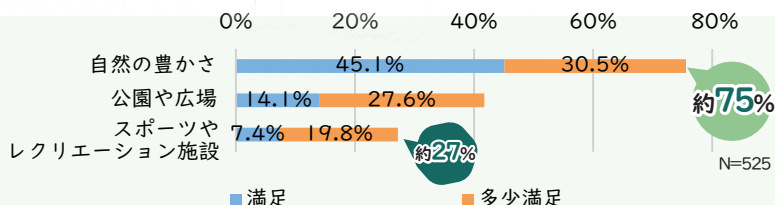
緑に関する町民アンケートの概要及び結果

対象者：無作為に抽出した市街地にお住まいの、18歳以上1,500名の町民のみなさま
回収率：525通（35.0%）

緑に関する現況について（満足・やや満足と回答があった項目のみ抜粋）

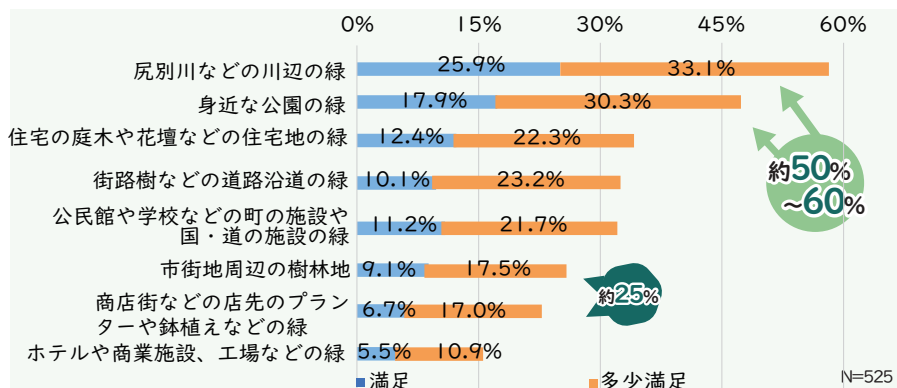
身近な生活環境について満足しているか

自然の豊かさに満足している人が多い一方で、スポーツやレクリエーション施設に対して満足している人は少なかった。



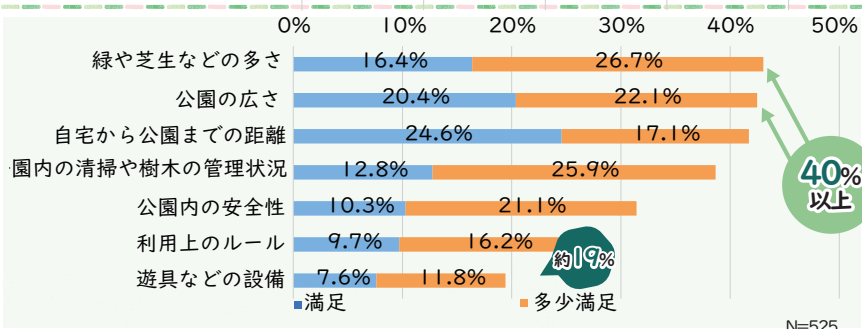
公園や施設などの緑の量について満足しているか

身近な公園や川辺の緑に満足している人が多い一方で、市街地や商店街、民間施設の緑に対して満足している人は少なかった。



公園の現状について満足しているか

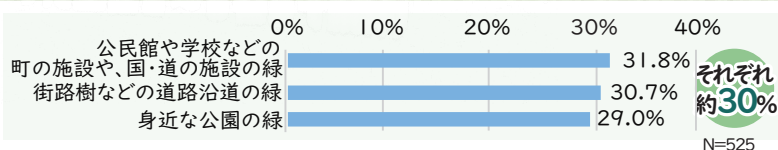
緑の多さや公園の広さに満足している人が多い一方で、公園の設備に対して満足している人は少なかった。



緑に関する将来について（回答数が多かった上位2～3位まで抜粋）

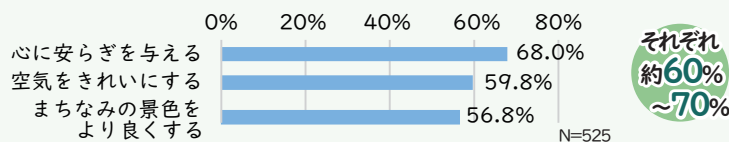
緑の量を積極的に増やすべきだと思う場所【複数回答有】

公共施設や道路沿道、身近な公園の緑を増やすべきだと回答した人が多かった。



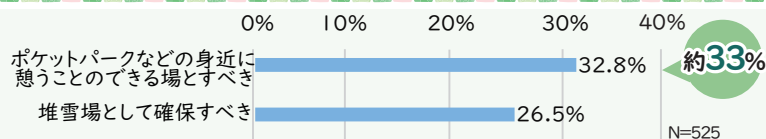
公園の役割や機能、期待するもの【複数回答有】

心に安らぎを与える、空気をきれいにする、まちなみの景色をより良くすると回答した人が半数以上と多かった。



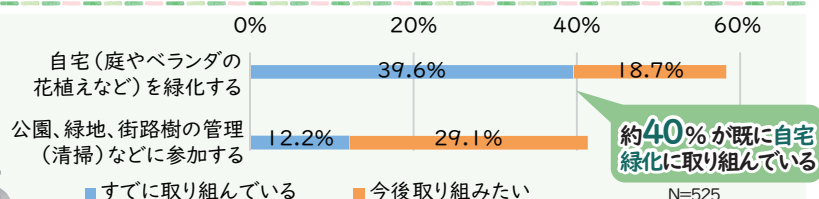
身近な空き地や広場についてどのように考えているか【複数回答有】

身近に憩うことのできる場所や、堆雪場とすべきと回答した人が多かった。



回答者自身の取組【複数回答有】

すでに取り組んでいること、今後取り組みたいこととして、自宅の緑化や公園等の管理（清掃）などに参加すると回答した人が多かった。



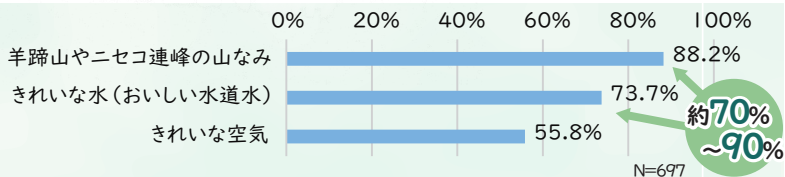
景観に関する町民アンケートの概要及び結果

対象者：無作為に抽出した町内にお住まいの、18歳以上2,000名の町民のみなさま
回収率：697通（34.9%）

景観に関する現況について（回答数が多かった上位3位まで抜粋）

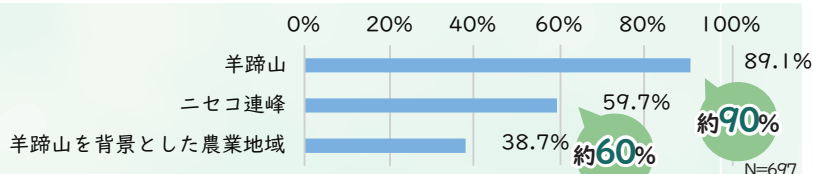
倶知安町の魅力だと思うもの〔複数回答有〕

山なみやきれいな水、きれいな空気と回答した人が多く、「自然」が倶知安町の魅力だと感じている人が多かった。



倶知安町の誇れる場所〔複数回答有〕

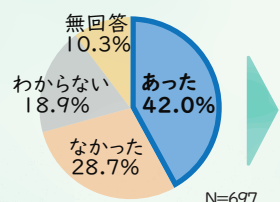
羊蹄山やニセコ連峰といった山々、羊蹄山を背景とした農業地域が誇れる場所だと回答した人が多かった。



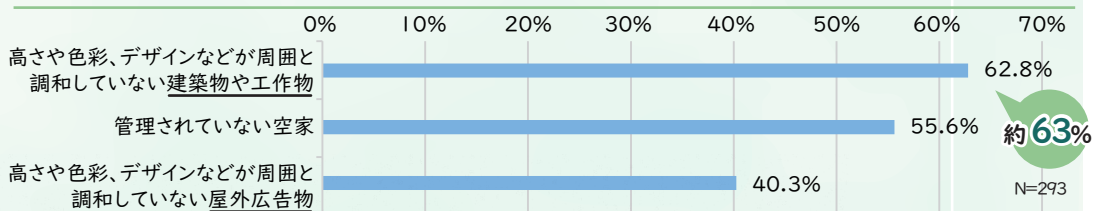
倶知安町の自然の景色やまちなみに違和感を覚えたことがあるか

「違和感を覚えたことがあった」と回答した人のうち、周囲と調和していない建築物や工作物、屋外広告物、管理されていない空気に違和感を覚えたことがあると回答した人が多かった。

違和感を覚えたことはあるか



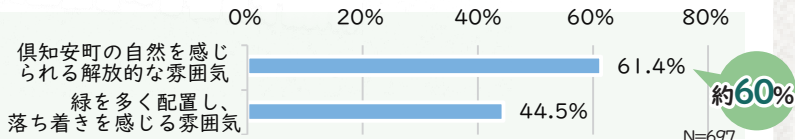
どのようなものが目に留まったときに違和感を覚えたか〔複数回答有〕



景観に関する将来について（回答数が多かった上位2～3位まで抜粋）

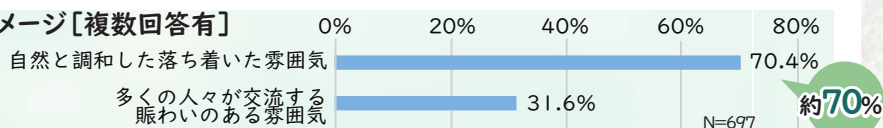
今後の倶知安駅周辺に求めるイメージ〔複数回答有〕

解放的な雰囲気や、落ち着きを感じる雰囲気と回答した人が多かった。



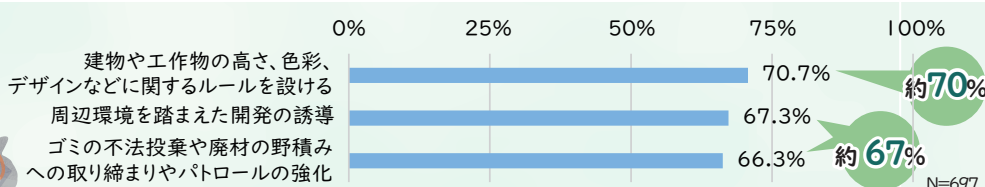
今後のニセコひらふ地区とその周辺に求めるイメージ〔複数回答有〕

自然と調和した落ち着いた雰囲気と回答した人が最も多く、次いで賑わいのある雰囲気と回答した人が多かった。



今後の取組〔複数回答有〕

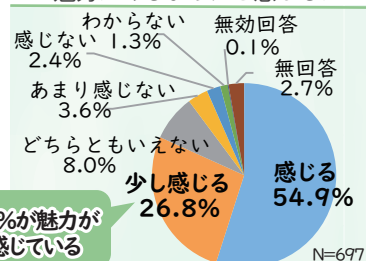
建物、広告物などに関する高さやデザインのルールを設定、環境を踏まえた開発の誘導、取り締まり・パトロールの強化に取り組むべきと回答した人が多かった。



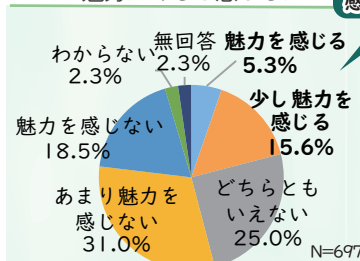
町全体の景観について

倶知安町の自然の景色に魅力を感じる人が半数以上と多い一方で、住宅地や道路などの「まちなみ」に魅力を感じる人が少なかった。

倶知安町は「自然の景色」に魅力があるまちだと感じるか



倶知安町の「まちなみ」に魅力があると感じるか



これまでに開催された勉強会・検討会議の報告

町の景観に関する検討を始めるにあたり、勉強会（専門家による講演）を行い、検討会議を2回開催しました。（詳細は町ホームページに公開しています。）

勉強会

日時：2020年7月9日（木）午後6時00分～午後8時00分

場所：倶知安町公民館 大ホール 講師：寒地土木研究所 地域景観チーム 笠間 聡 氏



◆演題「倶知安での暮らしのあり方と将来の景観を考える」

町役場職員など、約100名の参加者に向け、「景観とはなにか」、「景観と環境の関係」、「景観づくりに取り組む意義」、「景観と地域の魅力の関係」、「景観計画の果たすべき役割」などについてご講演いただきました。

講演の内容

- ・「景観」とは「環境」の眺めである
- ・「景観を良くする」目的は「地域の魅力を高める」ことである
- ・良い景観をつくり上げるには、みんなで「価値観」を共有することが大切である
- ・具体的場所や空間を、居心地の良いものに改善していく取り組みも大事である

第1回 検討会議

日時：2020年7月15日（水）午後2時00分～午後4時30分

場所：消防総合庁舎2階 会議室

◆講話「モノ・ヒト・バ - 自然と文化のタカラモノ」 矢吹委員

矢吹俊男委員より倶知安の歴史や風景に関する講話をいただきました。



講話の内容

- ・今ある姿は、過去からの延長である。過去を認識して評価することで次の発展につながる
- ・私たちが見ている風景というのは自然が織りなす最高の芸術作品である
- ・地域というバは地域にいるヒトとモノをつなぐ場所である
- ・地域の人々の暮らしから自然や文化などのタカラモノが生み出される

◆意見交換「倶知安町が目指す景観づくりとは？」

「日ごろ景観に対して感じていること」、「倶知安町の守るべき景観」、「倶知安町の魅力を伸ばすべき、活かすべき景観」などについて意見交換を行いました。



意見交換の一例

- ・市街地の街並みをいかに美しくしていくかが重要な点ではないか
- ・「開発=悪」という考えではなく、質を高める誘導が良い
- ・「景観」は、町として「どういう暮らしを目指すのか」という点が重要と思う
- ・「暮らしの姿」が景観であり、「景観」とは住む方の“身だしなみ”という考えもある
- ・経済よりも自然を大切にしよう、人々の価値観や都市のあり方を考えつつ検討を進めるべきである

第2回 検討会議

日時：2020年8月5日（水）午後1時30分～午後4時30分

場所：風土館/倶知安町内

◆町内の景観・緑・公園に関するフィールドワーク

町内の各ポイントを巡り、倶知安町の現状や景観特性を把握するフィールドワークを行いました。



ルート

<郊外>

国道276号（八幡ビューポイントパーキング・百年の森）→町道西3号→国道393号（扶桑・出雲・瑞穂）

<市街地>

六郷鉄道記念公園・旧白樺団地分譲地→富士見橋→中央公園・どんぐり公園→尻別川リバーパーク→しらゆき公園・しらゆき団地→旭ヶ丘公園山頂

◆意見交換「フィールドワークから感じたこと」

風土館に展示された航空写真を使って、委員が感じた景観についての特性や課題等の意見交換を行いました。



意見交換の一例

- ・旭ヶ丘公園からの景色は、倶知安の地形が良く分かった
- ・木々が生い茂って尻別川の川面がよく見えず、景観としてもったいないと感じた
- ・景観の課題に関して意見を言うだけでなく、活動し景観まちづくりに関わっていくことが大切
- ・農業地帯は河岸段丘になっており、格子状に道路がある景観は町の特徴の一つではないか

～景観室から～「景観の成り立ちとは」（倶知安町まちづくり新幹線課景観係 主事 八田 裕誓）



今年の4月から「景観」を担当することになり、手探り状態のなか、倶知安町の景観とは何なのかと自分なりに考えているところです。これまでの勉強会や検討会議を通じて感じたことは、倶知安の山や畑、川などの景観は、先人たちが、暮らしやすさを求めて工夫してきた歴史の積み重ねであり、開拓からの気候・風土に合わせた日々の営みが倶知安町の魅力を作り上げたのだと思います。私の趣味である写真を通じ、このまちの景色をたくさん収めて、倶知安の魅力をお伝えしていきたいです。